

# 京都府支部

## 1. 会員数 (平成16年12月31日現在)

212名 (指導医会員30名、検査士会員170名、医師会員10名、技師会員2名)

## 2. 事務局

住所：〒612-8219 京都市伏見区表町577

登録衛生検査所 J・C・R内

TEL：075-604-1388 FAX：075-604-1777 E-Mail：jscc-kyoto@jcr.cc

## 3. 役員

支部長・学術委員会委員長・指導医会会長	土橋 康成 (レイ・パストゥール医学研究センター)
会計・検査士会会長	中山 啓三 (J・C・R)
教育委員会委員長	若田 泰 (京都民医連中央病院)
精度管理委員会委員長	桜井 孝規 (京都大学医学部附属病院)
監事：細川 洋平 (京都第一赤十字病院)	黒住 眞史 (京都大学附属病院)
幹事：稲本 和男 (京都民医連中央病院)	岩崎 由恵 (J・C・R)
岸川 敏治 (京都府立医科大学附属病院)	桑畑 雅子 (J・C・R)
黒川 聡 (国立京都病院)	佐野 守 (京都第二赤十字病院)
白波瀬浩幸 (舞鶴市民病院)	高橋 玲 (京都大学)
豊山 浩祥 (京都桂病院)	中澤 孝夫 (日本セルネット)
中嶋 安彬 (京都大学医学部附属病院)	古谷 悦子 (京都第一赤十字病院)
真崎 武 (京都府立医科大学附属病院)	三宅 秀一 (京都市立病院)
安田 雄司 (やすだ医院)	山口 直則 (舞鶴共済病院)

## 4. 支部の活動 (平成16年1月1日～平成16年12月31日)

### ○ 平成15年度生活習慣病予防健診細胞診従事者研修会

平成16年3月27日 (土) 午後1時50分～午後5時10分 京都アスニー

座長 細川 洋平、中山 啓三

講演 (1) 『頸癌検診の動向と方向性』  
近畿大学医学部産科婦人科学教室講師 渡部 洋 先生

講演 (2) 『乳腺画像のトリビア ～細胞診の立場から～』  
津市市民病院病理科部長 岸本 光夫 先生

報告 『細胞診精度管理の諸問題』  
日本臨床細胞学会京都府支部長 土橋 康成 先生

### ○ 第21回日本臨床細胞学会京都府支部総会ならびに学術集会

平成16年8月1日 (日) 午後1時00分～午後5時00分

京都府立医科大学附属図書館・合同講義棟

一般演題 [I] 座長 細川 洋平、神崎 由佳

#### ① 婦人科頸部細胞診における直接塗抹標本と Thinlayer 標本の比較検討

J・C・R 岩崎 由恵、幸田 志保、能勢 勉

中山 啓三

株式会社医学生物学研究所 内藤 雅嗣  
中島レディースクリニック 中島 徳郎  
安田医院 安田 迪之

② Thinlayer法を用いた泌尿器細胞診標本作製の検討

J・C・R 幸田 志保、谷村満知子、岩崎 由恵、  
能勢 勉、中山 啓三  
株式会社医学生物学研究所 内藤 雅嗣  
安田医院 安田 迪之

一般演題〔Ⅱ〕 座長 桜井 孝規、黒住 眞史

③ Malignant Brenner tumor の一例

国立病院機構京都医療センター 南口 早智子、黒川 聡、大上 哲也、  
佐伯 仁志、木下 晴希

④ 腹水細胞診陽性であった卵巣成人型顆粒膜細胞腫の一例

舞鶴共済病院臨床検査科病理 山口 直則、河田 尚子、嶋本 知子  
同産婦人科 山城 玄  
J・C・R 中山 啓三  
福井大学医学部附属病院病理部 今村 好章  
安田医院 安田 迪之

要望講演 座長 真崎 武、能勢 勉

『テレパソロジー・テレサイトロジーの進歩と課題』

ルイ・パストゥール医学研究センター臨床病理研究部 土橋 康成先生

特別講義 座長 土橋 康成、岸川 敏治

『膵癌の早期診断に細胞診は不可欠である』

大阪成人病センター消化器検診科 中泉 明彦 先生

『膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMT)の標本作製から判定報告まで』

大阪成人病センター臨床検査科細胞診 竹中 明美 先生

○ 第6回症例研修会

平成16年12月23日(木) 午後2時00分～午後4時30分 青蓮会館(府立医科大学友会館)

座長 若田 泰、中山 啓三

演題1 『乳腺細胞診判定困難例の検討』

京都民医連中央病院病理課 神崎 由佳、藤田 葉子

演題2 『腎疾患と尿細胞診 ―ネフローゼ症候群に認められる脂肪顆粒細胞について―』

京都市立病院臨床検査科 川辺 民昭  
同 病理科 浦田 洋二  
北野病院臨床病理部 鷹巣 晃昌

演題3 『カンボジアの2年間を振り返って』

(株) J・C・R 桑畑 雅子

